

大東小学校区 若草町在住



いなば 稲葉ゆかり 活動レポート



討議資料

議員生活もはや6か月目に突入しました。前号(創刊号)でご報告させていただきましたが、6月議会(第2回定例会)において、稲葉ゆかりは「産後ヘルパー制度の拡充」について一般質問させていただきました。それがなんと!! 大府市令和5年度9月補正予算に盛り込まれ、8月27日の定例記者会見で「産前・産後サポーター派遣事業」を開始すると発表されました。初めての一般質問で提言したことが早速実現されることになり、大変嬉しく思います。これからも市民の方からいただいたご意見やご要望に1つ1つ真摯に向き合い、行政につなげていけるよう頑張っており、引き続きのご支援、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

活動報告： 一般質問での訴えが実現しました

8/27、大府市は「大府市子どもまんなか応援サポーター宣言」をしました。この制度は、こども家庭庁が掲げる子どもの健やかな成長を支援する「子どもまんなか」の趣旨に賛同し、市独自の新たな子育て支援策「おおぶこども輝く未来応援八策」の一環となる宣言です。この「おおぶこども輝く未来応援八策」の『子ども・子育てのライフステージに応じた5つの「柱」の施策』の1つ目、結婚・妊娠・出産のライフステージにおける加速化事業として「産前・産後サポーター派遣事業」を実施すると発表されました。

稲葉ゆかりが6月議会の一般質問で「産後ヘルパー制度の拡充」の必要性について訴えさせていただいた内容です。平日600円/時間という、先行する刈谷市より100円安い利用料で支援を受けることができます。出産育児に不安を抱えている方の安心感につながれば幸いです。

中日新聞 2023年8月29日 朝刊



④産前・産後サポーター派遣事業を開始します 

予算額 2,003千円

全ての妊婦や子育て世帯に寄り添ったきめ細かな支援体制の一環として、妊娠期や出産後における家事や育児に係る負担の軽減を図るため、自宅にヘルパーを派遣して家事や育児をお手伝いする「産前・産後サポーター派遣事業」を開始します。

○事業内容
産前・産後サポーターを利用者の自宅に派遣し、調理・洗濯等の家事や、おむつ交換・沐浴介助等の育児に携わります。【サポーターは市内の社会福祉協議会から派遣します】。
※令和5年10月から申請受付を開始し、11月から派遣を開始します。
※事業の範囲として、子ども・子育て応援基金を活用します。

○対象者
市内に住所を有する妊婦(母子健康手帳交付後)、又は出生後1か月未満の子どもがいる家庭
※いずれも、親族等から支援を受けられる方は除きます。

○利用料
平日600円/時間、休日800円/時間 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は無料

○利用時間
1日4時間以内、1月当たり16時間以内(利用可能な期間を通じて合計60時間まで)

健康未来部子ども家庭課
子ども支援係 (274)



引用元: <https://www.city.obu.aichi.jp/shisei/mayors/photo/news/1025725/1028220/1028464.html>

【継続している活動】「178の日」

毎月1のつく日、1日、11日、21日(31日)に大府駅東口を中心に、あいさつ運動とゴミ拾い活動を実施しています。皆様のお声がけ大歓迎です! お困りごとなどもお聞かせください。

**「いなば」
「178の日」**

毎月1のつく日の
7時頃から8時頃まで大府駅で
朝のあいさつ運動&ゴミ拾いを行っています。

いなば 稲葉ゆかり 一般質問

令和5年8月31日～9月27日 第3回定例会

大府市議会 本会議録画配信

検索



※イメージ画像

「ICT教育」についての質問と行政の答弁

Q 「1校に1名のICT支援員を配置して、8年間継続したことによる成果と残された課題は何か」

A ICT支援員の業務内容は校内 ICT 環境整備と授業支援であり、工夫や改善を教員と一緒に取り組んでいる。教員が困った折や、児童生徒たちが相談したときに駆けつけてくれる安心感が成果と考える。課題としては、児童生徒の知的欲求が学習指導要領を超える場合に、それをどう受け止め、どう対応していくかだと考える。一斉学習になりがちな学校での学習の中で、個別最適化した主体的な学びをいかに進展させていくかが今後の課題である。

Q 「小中学生の課外授業や部活動に替わる、ICTを学ぶ新たな活動の場をつくる考えはあるか」

A 中学校では、現在あるコンピュータ部を他の文化部と同様に地域移行し、ICTについて意欲を持って学べる場になるよう準備していきたい。小学校では運動・文化活動支援事業にプログラミング学習の活動を取り入れることも可能だと思う。

答弁を受けての所感

大府市では 2015 年から ICT 支援員を市内の小中学校に派遣してきました。教員と協力しあって積極的に ICT 教育を推進してきたため、子どもたちのスキルは年々あがっています。しかし、**学校での授業時間だけでは更にステップアップする機会としては不足しています**。社会では IT 人材不足が喫緊の課題でもあります。子どもたちの中には ICT に適性のある子やもっと新しい事にチャレンジしたい子が増えてきています。そのような子どもたちの**もっと学びたいというやる気を支援できる場を作る必要がある**と考えます。IT の持つ可能性を理解した上で、それによって誰かの役に立つものを創りたいと思えるような創造力を養い、未来を生きていく希望につなげていってくれる環境を整えなくてはならないと思います。

教育関連で削減できるコストは思い切って下げて、その分を**子どもたちの未来への投資に充当**させてほしいと切に願います。

稲葉ゆかり

その他の活動報告（新人議員として、まずは勉強！そして、とにかく行動！）

市民からのご要望受け「鞍流瀬川公園」の草刈り

「公園に草が生い茂って大変」とご要望を頂き、すぐ行動！翌日に本田議員とともに草刈りに行ってきました。行政も草刈り後の草の山の回収を、快く引き受けてくださいました。草刈り後に、近隣にお住まいの方から「子どもたちが遊びやすくなって助かりました。」と感謝のお言葉をいただきました。



Before



After

有機農業の実態について積極的に勉強中

東京都立貿易産業センターで開催された「オーガニックライフスタイルEXPO2023」に参加してきました。



更に、鈴木じゅんじ総務大臣のお取り計らいにより農水省の方々から有機農業に関するより深いレクチャーを受ける機会をいただきました。

稲葉ゆかり後援会へのご入会を随時募集しております！（右のQRコードで公式サイトからどうぞ）
入会時にメールアドレスをお知らせいただいた方には、毎月1日と15日にメールマガジンを配信させていただきます。都度取り組んでいることや思っていることなど、赤裸々につがやいております。

発行元：稲葉ゆかり後援会（070-9056-1780）

inabayukari.com

